

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

ホタテの稚貝放流

湧別・佐呂間・常呂の各漁業協同組合は、オホーツク海沿岸を4つの海区に分け、1年ごとに海区をずらしながら毎年ホタテの稚貝を放流します。これは、四輪採制と呼ばれる方法で、水揚げを4年前に放流した海区から行うことで、若いホタテの乱獲を防ぎ、資源の厳密な管理を実施しています。今年の稚貝放流は5月15日から始まり、最終27日までに約6億5千万粒が放流されました。

この稚貝は、サロマ湖で昨年春に親貝が産卵した幼生を、特殊なネットなどで育てて越冬させ、今春4cm程度まで成長したものです。これを採取して、今年の実区に放流するものです。



< サロマ湖における稚貝採取作業 >



< オホーツク海沿岸における稚貝放流作業 >

お魚殖やす植樹運動

「豊かな森づくりが、豊かな海づくりに繋がる。山は恋人、川は仲人。」という喩えがあるように、植樹は、サロマ湖を良好な漁場環境にするものとして、毎年、湧別・佐呂間・常呂の各漁業協同組合が実施しています。

今年は、5月9日に新湧別町開町記念植樹祭を行ったほか、31日は佐呂間漁業協同組合が、6月6日に常呂漁業協同組合がサロマ湖鶴雅リゾートとの共催で行いました。これらの参加者総数は464名で、ミズナラなど合計2,700本を植樹しました。



< 下草刈り作業 >



< 植樹作業 >

また、6月9日、湧別漁業協同組合青年部は、総勢21名で過去に植樹した育成林の管理活動として下草刈り作業を実施しました。

サロマ湖ごみゼロ運動



漁業生産活動の拠点「天恵の湖」サロマ湖の湖岸周辺域の環境保全を図ることを目的に、平成15年度より実施しています。

今年は6月19日に開催され、北見市・佐呂間町・湧別町の各漁業協同組合の組合員、女性・青年部員、職員、そして市・町職員などを含めた総勢863名が参加し、また、漁船15隻、トラック29台が出役し、約10トンのごみを収集しました。なお、湧別漁協潜水クラブでは会員11名が参加し、登栄床漁港内に潜水して海底に落ちていた漁業資材を回収しました。

ホタテは鮮度で勝負

ナチュラルファクトリー・オホーツクが、6月19・20日にサッポロファクトリーアトリウムで行われました。このフェアには、2市7町から23団体が参加して特産品の販売のほか、観光・物産PR、クイズとゲーム、クラフトや遺産



に関するコーナーを設けて、総合的にオホーツクをPRするものです。本地域からは、湧別漁業協同組合「湧鮮館」が出店し、貝付き鮮ほたて、ソフト・干し貝柱を販売しました。特に、貝付き鮮ほたては、来場者からはとても好評で、持ち込んだ300枚全てを完売しました。



イベント情報

6月27日に第25回サロマ湖100kmウルトラマラソンが行われました。100kmと50kmを合せた出場者は、過去最高の3,656名で、湧別町と佐呂間町からそれぞれ北見市常呂町のゴールをめざしました。この3市町では、ボランティアを中心に約1,300名体制で大会運営を支えました。

今後は、7月2～4日が3市町を通過する第29回インターナショナルオホーツクサイクリング、7月17・18日に第14回ゆべつ大漁みなとまつり、8月1日は第25回湧別サロマ湖龍宮えび・ホタテまつり、8月14・15日が第31回とこふるさとまつり、9月4・5日にシンデレラ夢2010(佐呂間町)の開催が予定されております。

発行 サロマ湖地域マリンビジョン協議会

2010.7.1

編集 サロマ湖地域マリンビジョン協議会事務局

〒099-6404 湧別町栄町112番地の1

湧別町総合支所産業振興課内

Tel 01586-5-3763 ・Fax 01586-5-2283

Mail sangyo@town.yubetsu.lg.jp

